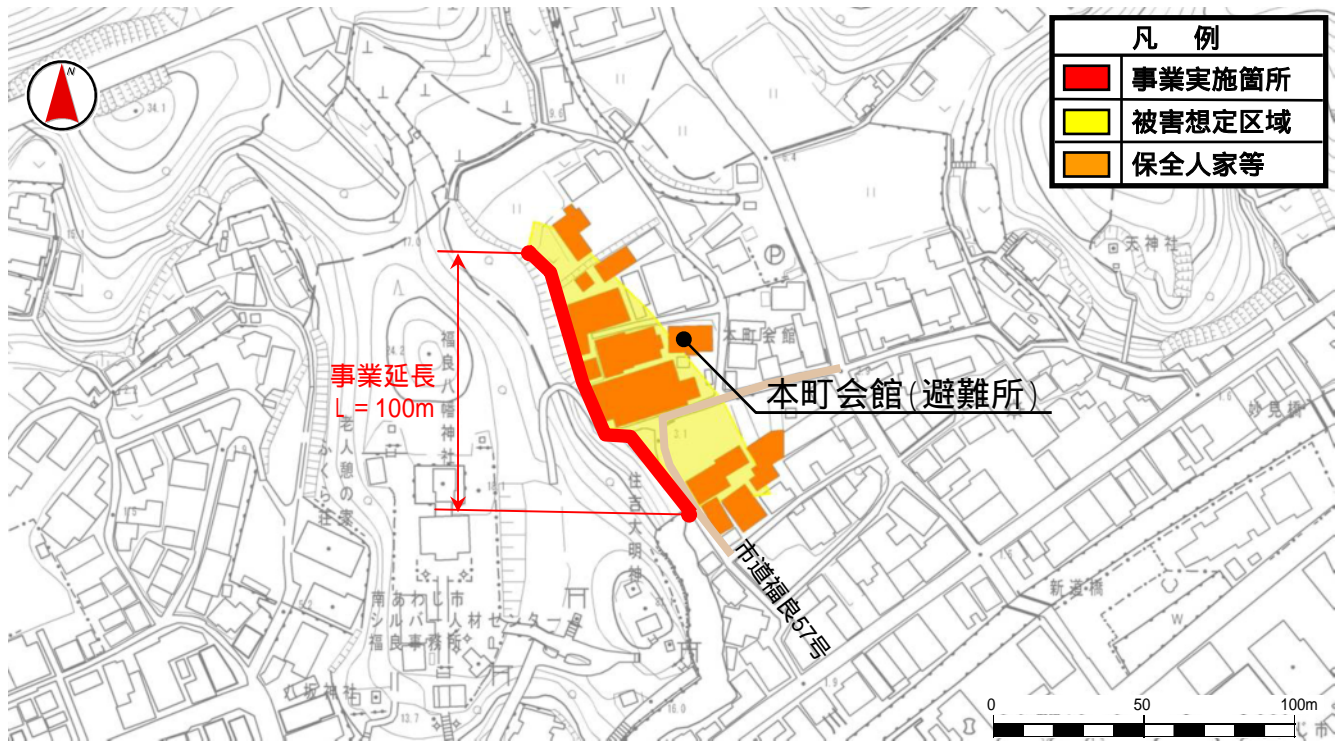
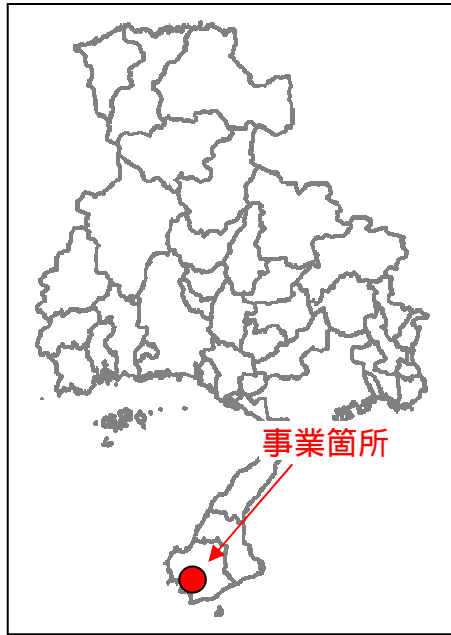


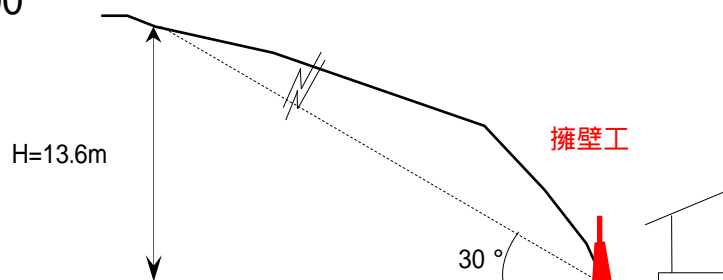
投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 松本 正利 (木本 和彦)	内線	4459 (4467)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	急傾斜地崩壊 対策事業	事業名	事業区間	総事業費	1.0 億円
		急傾斜地崩壊対策 ふくらしんみち 福良新道地区	南あわじ市 ふくらひがし 福良東1丁目	内用地補償費	- 億円
所在地				着工予定 年 度	完成予定 年 度
南あわじ市福良東1丁目				H24	H26
事業目的			事業内容		
急傾斜地崩壊による災害の防止 当地区は斜面崩壊の危険性が高く、急傾斜地崩壊危険箇所となっている。斜面下部には人家11戸があるため、防災工事を行い、地域の安全・安心な暮らしを支える。			急傾斜地崩壊対策事業 擁壁工 L = 100m 〔負担割合 国 : 45.0% 県 : 45.0% 地元 : 10.0%〕		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 〔地区の状況〕		・南あわじ市役所南淡庁舎より北西約200mに位置する急傾斜地崩壊危険箇所。 ・斜面は荒廃しており、隣接斜面で過去に崩壊が発生しており、危険な状態。			
〔保全対象等の状況〕		・延長100m、幅約30mの被害想定区域で、崩壊した場合の影響は大きい。 ・ <u>保全対象は本町会館（避難所）、人家11戸、市道(50m)。</u>			
(2)有効性・効率性 〔効果〕		・平成22年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制の整備によりソフト対策が進められている。これに加え更にハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。			
〔事業執行環境〕		・事業の主旨について、十分な理解を得られ、地元の協力体制も整っていることから工事着手が見込め、円滑な事業の執行が可能である。			
(3)環境適合性		・斜面の改変を最小限にとどめ、既存斜面の緑を残し、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。			
(4)優先性		・保全対象には、避難所である本町会館また人家11戸があり、早期着手に対する地元要望が強い。			
		以上より、H24年度に事業着手し、早急な対策が必要である。			



横断図 S = 1:400



箇所名	福良新道地区
-----	--------